

2 個別事業評価調書

団体名: 与謝野町

事業名		社会福祉施設整備事業					
事業の概要		福祉施策の充実とは本町の行政を推進していくうえで、非常に大きな意味を持つ。今回の整備により、地域医療体制の強化や障害者の就労支援への足掛かりとし、本町のまちづくり施策の最初に挙げられている「安心とほろあいのある福祉社会づくり」に資するものとなる。 < 障害者グループホーム > 保健センター進入路境界確定 < 与謝野町国民健康保険診療所 > 屋根改修工事 排水設備工事(管布設工L=95.06m 汚水桟設置22箇所、浄化槽撤去、ポンプ撤去) 診察用昇降式ベッド購入					
		事業期間	平成19年度				
		総事業費	4,528	本年度事業費	4,528	交付金交付額	2,264
事業評価	事業の必要性	町内における障害者福祉施設の基盤は十分とは言えず、特に自立して生活する場と自立するための就労の場の確保が急務となっている。 また、診療所は老朽化が進展しており、早急に整備しなければ施設全体へ影響がでるのは必至である。					
	事業の有効性	これらの福祉施設を整備することにより、障害者の社会参画の推進、施設の円滑な運営や、施設の長寿命化を図ることができる。また、施設利用者・業務従事者ともに快適性が増し、施設利用の機運が高まる。					
	事業の効率性	地域医療体制の強化や障害者の就労支援の実現により、地域福祉の更なる充実を図ることができる。					
	具体的な成果	1 府と市町村等との連携に資する成果					
		2 住民の自治意識を高める成果 障害者が就労可能な施設はまだまだ少なく、就労能力・意欲があるにもかかわらず、働けずにいる障害者は多い。本事業により障害者にも生きがいを持った暮らしができるよう支援をするものである。 また、診療所は地域に根付いた医療拠点として、今後も更なる役割を期待されており、その施設を整備することにより、施設利用者・業務従事者ともに快適性が増し、施設利用の機運が高まる。					
		3 リーディング・モデル成果					
		4 広域的波及成果					
		5 行財政改革に資する成果 診療所は老朽化が進展しており、放置すると施設全体への悪影響が避けられない状態である。これらによる影響を未然に防止することで、さらなる財政負担や利用者への影響を抑えるものである。					
		6 その他の成果					

(記載要領)

- 1 事業ごとに本様式を作成すること。
- 2 「具体的な成果」欄については、できる限り客観的な数値を掲げて具体的に記載すること。